

展望2022 - 道路舗装・2 / 前田道路・今泉保彦社長 / 品質極めブランド確立を



今泉保彦社長

昨年10月に当社と前田建設、前田製作所の3社で立ち上げたインフロニア・ホールディングス（HD）の一員として存在感を示していく。原油価格の高騰を背景に製品部門は苦戦を強いられているが、好機と捉えて業務改革を一層加速する。当社の強みは全国に220を超える拠点があることだ。3社で情報共有や営業協力、人材交流を進めシナジー（相乗効果）を発揮する。

原油価格の上昇は続くことが予想され、価格転嫁に理解を得られるよう顧客と粘り強く交渉する。工事では技術提案力を生かし、国土強靱化対策など官庁工事の受注拡大を狙う。新たな事業領域として自治体の道路等包括管理業務などに注力したい。海外は現地企業との資本提携などを通じ、東南アジアで製品部門の強化を模索する。

生産性向上と働き方改革の実現にDX（デジタルトランスフォーメーション）の推進は欠かせない。社内公募で集まった900件以上の提案を精査し具現化したい。BIM/CIMの導入や業務の効率化につながる技術開発、人材育成も着実に進めていく。カーボンニュートラルは大きな経営課題の一つだ。グリーン電力の使用や合材工場の燃料転換、脱炭素に向けた製品の研究開発などに力を入れる。

2020年に創立90周年を迎え、100年に向けた一步を踏み出した。工事と製品部門で品質や使いやすさなどを極め、“前田道路ブランド”を確立したい。

記事ID : 3202201070204